

令和元年度「シニア地域活動入門講座」《 第6回 》

日 時 : 令和元年7月24日(水) 13:15~16:00
 場 所 : 日立市郷土博物館1階集会室
 講 師 : 田切 美智雄氏 日立市郷土博物館特別専門員、茨城大学名誉教授
 講話演題 : 日本最古のカンブリア紀層と郷土日立 + ジオパークについて

- ◆ 田切先生から「日本最古のカンブリア紀層と郷土ひたち」についてご説明を受けた。
- ◆ 要旨、①地球の時代 ②阿武隈山地の地質 ③茨城県の地質 ④多賀山地の地質図 ⑤日立市近傍の変成地質図 ⑥Zircon SEM 画像及びウラン、鉛元素測定(岩石の年代分析法) ⑦5億4千年前の世界地図 ⑧6億年間の大陸移動のアニメーション ⑨カンブリア紀の生物 ⑩ジオパークとは?その活動内容 ⑪日立市の段丘区分(高位段丘・中位段丘・低位段丘・海食崖) ⑫今後30年以内の地震発生確率・日立の震度階級・液状化・津波予測
- ◆ 座学の後、久原、小平 両氏の顕頌碑、根本甲子男顕彰板、神峰公園頂上展望台下の変成花崗岩、展望台から望む日立市の段丘区分のご説明を受け実際に目で見て実感した。

田切 美智雄先生のご講話



熱心に講話を聞く受講生

根本甲子男顕彰板がはめ込まれた約5億年前(カンブリア紀)の変成花崗岩



神峰公園頂上展望台下の約5億年前(カンブリア紀)の変成花崗岩



頂上展望台での約30万年の間に海面低下または陸地隆起によって形作られた段丘地形の説明

